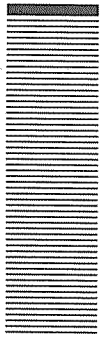
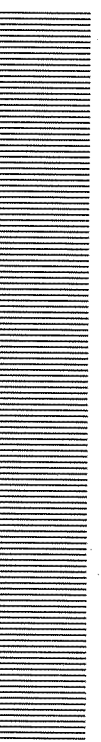


TYPE OF INDUSTRY



科学技術・大学



情報通信研究機構

NICT 先端研究

(185)

近年、局地豪雨や竜巻などの局所的で突発的な大気現象による災害が増加傾向にある。急激に発達する積乱雲に伴い発生するこれらの極端気象は、河川の氾濫や土砂災害を引き起こし、人々の生活に甚大な被害をもたらすことがある。

ライダー 風・水蒸気を同時計測

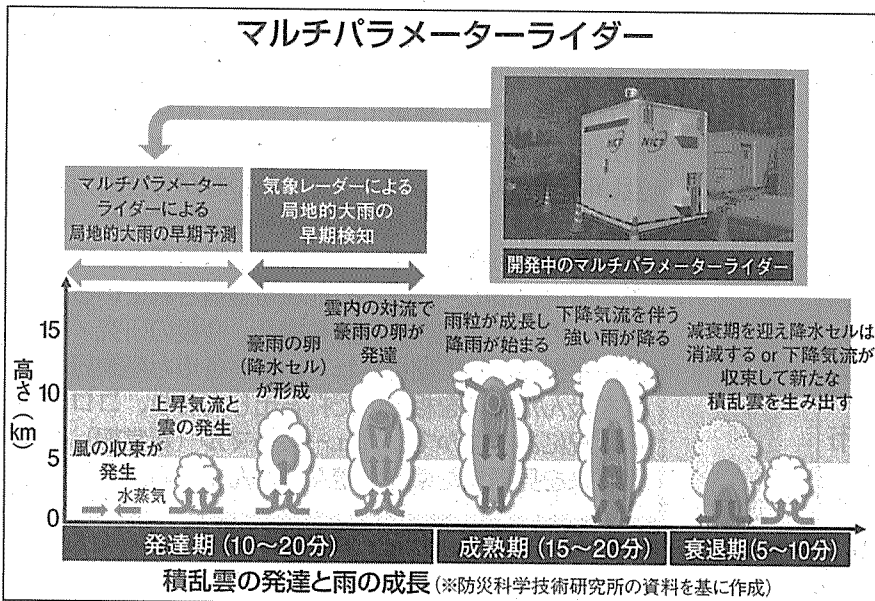
電磁波研究所 電磁波伝搬研究センター・青木 誠
リモートセンシング研究室 研究員

2012年静岡大学大学院博士課程修了。同大工学研究科科学技術研究員を経て、14年NICTに入所。リモートセンシング、赤外線固体レーザーなどの研究開発に従事。博士(工学)。



情報通信研究機構 ス状の光、または強度をすることで「風」を、水いてこれを実現した。(NICT)では、積や位相を調整した連続分子に対して吸収の強いレーザー光と吸収の弱いレーザー光を用いて水蒸気の空間分布を把握するために、屋外に向けて3次元的にレーザー光を走査して観測を行うことが前提で

イクロは100万分の最高出力クラスの20μm帯で発振する世界最良レーザーの研究開発も進めている。



マルチパラメーターライダーは、マルチパラメーターライダーによる局地的大雨の早期予測、気象レーダーによる局地的大雨の早期検知、風と水蒸気を同時計測する技術である。マルチパラメーターライダーは、風に乗ったレーザー光の発振波長を合わせて安全に観測する。マルチパラメーターライダーは、風に乗ったレーザー光の発振波長を合わせて安全に観測する。マルチパラメーターライダーは、風に乗ったレーザー光の発振波長を合わせて安全に観測する。